

令和元年11月 7日

初の東京開催 第5回「ふくしま・かわまた米コンテスト」最終審査

恒例の「ふくしま・かわまた米コンテスト」は、農業者の生産意欲・技術の向上を図り、消費者に地元の農産物のおいしさと安全性をアピールするため、公開で行ってきました。

今回の最終審査は、原発事故による風評の払拭と消費拡大のため、情報発信力の強い東京都内で初めて開催します。

なお、本イベントは、福島市・川俣町・JAふくしま未来・福島大学で実行委員会を結成し、福島大学小山ゼミの学生が中心となり企画・準備を進めています。

記

【第5回「ふくしま・かわまた米コンテスト」最終審査】

1 日 時 : 令和元年11月22日（金） 午後0時30分～午後2時20分

2 場 所 : 「農業・農村ギャラリー ミノール」
（東京都千代田区大手町1丁目3-1 JAビル4階）

3 内 容

（1）審査

① 第1次審査で選出した上位5人のお米を審査委員が食味審査し、各賞を決定。

② 審査委員（7人程度）

審査委員長：福島市長、審査委員：川俣町長、JAふくしま未来組合長ほか
※都内料理関係者等と調整中。

③ 表彰

金賞（1点） 副賞：2万円相当の旅行券

銀賞（2点） 副賞：福島牛1kg

銅賞（2点） 副賞：川俣シャモ鍋セット

（2）当日イベント

① 一般来場者に出品された米の試食を提供し金賞予想投票を実施。的中者から抽選で5人に『金賞米5kg』をプレゼント

② 一般来場者に先着で、福島産の「たまご」と「りんご」をプレゼント

③ 同会場で福島市と川俣町の特産品を販売する「ミニマルシェ」を開催

④ 開催当日を含む11月18日（月）から11月22日（金）の5日間、「農業・農村ギャラリー ミノール」で販売される弁当に福島市産のお米が使用されます。

4 その他

（1）コンテスト募集結果

対象：福島市・川俣町の農業者

募集期間：10月1日（火）から10月28日（月）

出品米：令和元年産玄米（コシヒカリ、ひとめぼれ、天のつぶ限定）

出品者数：61人

（2）第1次審査

JAふくしま未来の食味計や穀粒判別機により30人を選出

県農業総合センターの協力を得て味度計で絞り込んだ5人が今回の最終審査へ

担当：農業振興課 生産振興係
課長 清野、課長補佐 朝倉
電話 024-525-7720（直通）